

地域福祉活動研究 第1号～第18号

本誌は、地域福祉活動を実践する中で生起する諸問題について、その解決のための方策や方向づけを与えること、地域福祉の体系化を目指して、多様な実践活動に理論的方向を与える、各地における地域福祉活動や施設社会化活動の実践報告の場とし、実践家や若手研究者の研究発表の場とすること、社会福祉情報等の提供の場とすることを主旨として昭和59年2月に第1号を発刊しました。

その後、地域福祉実践活動を中心とした「論文」「実践研究」等を柱とする企画内容により年1回、平成13年3月まで発行しています。

\*第1号、第7号はすでに完売しております。

地域福祉活動研究 第18号

発行日 2001年3月

体裁 B5判 109ページ

定価 1,500円(税込)

<目次>

【巻頭言】社会福祉法と地域福祉活動(高田真治)

【特別寄稿】いま、改めて「住民主体の原則」を考える - 山形会議40周年に当って - (重田信一)

【特集】実践現場が模索する21世紀の利用者支援

・権利擁護と地域福祉ネットワーク 社会サービスと権利の確立をめざして - (上田晴男)・権利擁護活動に求められる新たな連携 弁護士からみる福祉専門職の役割と連携 (青木佳史)・マイケアプラン運動で拓く介護保険(小國英夫)

【シンポジウム】契約社会における地域福祉 サービスの基盤整備と利用者支援の方策をさぐる (光武顕・祐川眞一・尾上浩二・木間昭子・牧里毎治・栃本一三郎)

【論文】子どもたちの権利を保障するために 兵庫県児童養護連絡協議会「子育て支援基準」の取り組み実践を通して(名嶋満)・セルフヘルプ支援センターの意義とひょうごセルフヘルプ支援センター発足の経緯(中田智恵海)

【海外報告】対談：フィリピンの障害者福祉と出会う(ビーナス・イラガン・松原一郎)

【市民活動最前線】地域市民活動団体の支援と市民社会の基盤確立をめざして しみん基金・KOBE の取り組み経緯と実践 (黒田裕子)

【兵庫発! 実践動向のこの1年】『ささまち3』策定メモ 兵庫県社協における市町社協地域福祉推進計画方針書の策定と普及 (鈴木貴子)・介護保険になって、施設の取り組みこの1年 地域福祉の拠点として (上田芳史)・福祉サービス利用者による評価支援事業の取り組みから見たもの(手島洋・杉田健治)・次世代に向けて、災害支援体制の構築と連携 鳥取県西部地震と兵庫県内のボランティアコーディネーターが果たした役割 (十河美子)・図書・資料紹介  
・地域福祉活動研究バックナンバー

申込み・問合せ先

兵庫県社会福祉協議会 総務企画部

Tel 078-242-4636 Fax 078-242-4153

地域福祉活動研究 第18号 希望冊数( )冊			
名称	担当者名( )		
住所	〒		
TEL		FAX	
備考	請求書宛名、依頼内容をご記入ください		

ご注文はFAXで兵庫県社協 総務部企画部まで(FAX 078-242-4153)